

フォーカス
The North American
Label Market

米ミシガン州のエプソン「SurePress」導入企業が考える

中小ラベル印刷会社が描くビジネス展望とは



Middleton Printing

ミドルトンプリンティング



ミシガン州から優良企業表彰を受けたミドルトン一家。右から現社長夫人のシンドリー氏、現社長のスティーブ氏、創業者のロバート氏、ジュディー夫人

ミドルトンプリンティングは、ミシガン州の都市、セントラビッツに本社を置き、エプソン「SurePress」を導入するラベル印刷会社2社を、「ラベルエキスポアメリカ2014」の会場で取材した。両社の年商は、日本でラベル印刷会社の12%を構成する5～6億円規模で、1社は50年以上続くファミリー企業。もう1社は、北米で活発に行われている企業の合併・買収(M&A)を繰り返しつつ40年以上にわたるラベル製造を手掛けているコンパニータだ。市場性だけでなく、ラベルの発注者も販路も欧米からアジアへと変遷している市場で今後のビジネス展望をどう描いているのか、勝機をどこに捉えているのかなどを聞いた。(鈴木)

欧州・日本と共に、長年にわたりグローバルマーケットをけん引してきた北米のラベル市場。従来は、水性フレキソでの大量生産が特徴的な市場だったが、近年は、小ロット・多品種への対応がキーとなっている。特に中小企業においては、フレキソによる大量生産のみの対応ではラベル単価や設備力などの面で大手との競争に打ち勝てず企業存続も難しい状況で「小ロット」「高付加価値」「高品質」が求められている。このような経営環境の変化の中、今必要な技術は『デジタル』だと口をそろえて語る経営者たち。その事例について、共にミシガン州第2の都市セントラビッツに本社を置き、エプソン「SurePress」を導入するラベル印刷会社2社を、「ラベルエキスポアメリカ2014」の会場で取材した。両社の年商は、日本でラベル印刷会社の12%を構成する5～6億円規模で、1社は50年以上続くファミリー企業。もう1社は、北米で活発に行われている企業の合併・買収(M&A)を繰り返しつつ40年以上にわたるラベル製造を手掛けているコンパニータだ。市場性だけでなく、ラベルの発注者も販路も欧米からアジアへと変遷している市場で今後のビジネス展望をどう描いているのか、勝機をどこに捉えているのかなどを聞いた。(鈴木)

レーベルテープ
本社社屋



Label tape

レーベルテープ



トム・キャロル社長(エキスポ会場で)

中小企業にデジタル機は必須

「ここ数年で北米のラベル市場はドramチックに変化した」と同グループのトム・キャロル氏は語る。市場は、SKUラベルのようなくわがわがと多品種の高品質なラベルを求めており、それを対応できないラベル機は淘汰されていく、というのだ。

「ここ数年で北米のラベル市場はドramチックに変化した」と同グループのトム・キャロル氏は語る。市場は、SKUラベルのようなくわがわがと多品種の高品質なラベルを求めており、それを対応できないラベル機は淘汰されていく、というのだ。



グループ傘下の A-FLEX Label に導入された「SurePress L-4033AW」

「ここ数年で北米のラベル市場はドramチックに変化した」と同グループのトム・キャロル氏は語る。市場は、SKUラベルのようなくわがわがと多品種の高品質なラベルを求めており、それを対応できないラベル機は淘汰されていく、というのだ。



高級食材「BLISS」のホットペッパーソースラベルは「SurePress」で受注獲得

製造はフレキソからデジタル機に集約

「まず、フルカラー印刷の再現性が非常に高いと感じた。当社が今後のターゲットに据える高級食材向けラベルにおいて、同機の印刷品質を可変デザインに対応できる柔軟性を鑑みると、北米の大手ラベル印刷会社は、同規模の競合他社との差別化も十分にできる。当社のような家族経営企業でも、この投資を継続して企業を発展させることができる。このように設備から、同機を導入し、基盤への専用ソフトウェアの必要もなく、ポリエースホルミミコーティングや、同社が多量生産各種ラベルの印刷も兼ねておこなっている。また、小規模企業にとっては手離れが良い印刷機といえる重要な課題だが、それはデジタル機



「フレキソからデジタル機に設備を一本化する予定」と語るスティーブ社長

の性能を遺憾なく発揮し、スタートボタンを押せば、その印刷機は自動的に仕事をこなす。この品質と安定性であれば、旧型のフレキソ印刷機を廃止し、日中回しているものも、いろいろの面で利益が創出できる(スティーブ氏)と実感した。また、印刷に携わった経験から、マーケティングや営業の時間を短縮できるのが、北米を中心に展開する高級食材メーカーにとって重要な課題だ。また、高品質な印刷を実現し、洗練された印象を醸成し、顧客の購買意欲を高めることも、デジタル機導入の大きなメリットだ。デジタル機導入によって、同機による製造一本化するだけでなく、ラベルの品質も向上し、顧客の購買意欲を高めることも、デジタル機導入の大きなメリットだ。

「ここ数年で北米のラベル市場はドramチックに変化した」と同グループのトム・キャロル氏は語る。市場は、SKUラベルのようなくわがわがと多品種の高品質なラベルを求めており、それを対応できないラベル機は淘汰されていく、というのだ。



実績、続々。成果、着々。

小ロット対応、短納期、高画質が、業績に直結。
インクジェットデジタルラベル印刷機「SurePress」
さらに、市場の声に応えるホワイトインク搭載モデル誕生。

「小ロットの受注でも利益が出る!」「短納期の要求にも柔軟に対応できる!」「商品のシズル感まで表現できる!」デジタルだからこそその優れた特長と、エプソンならではの画質技術で、発売以来ラベル業界の高い支持を受け、多彩な印刷現場で活用されているデジタル印刷機「SurePress L-4033A/AW」。これからも、その性能と使いやすさ、経済性で、ラベル印刷のさまざまな課題を解決していきます。

実機を日野デモルーム(東京)で*。その実力をお試しください。 隠ぺい性の高いホワイトインク搭載のSurePress L-4033AWをご用意しており、実際の印刷データ・基材などをお持ちいただき、テスト印刷・後加工の検証が可能です。
*日野デモルームは完全予約制です。

Inkjet Digital Label Press
SurePress L-4033A/AW
シュアプレスのホームページ
<http://surepress.jp>

詳細についてはお問い合わせください。
03-5321-9733
【受付時間】9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)
エプソン販売株式会社 シュアプレス専用ダイヤルまで
*この広告に記載の仕様、デザインは技術改善等により、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
エプソン販売株式会社 セイコーエプソン株式会社